

Jークレジット制度 プロジェクト計画変更届

平成 26 年 11 月 19 日

Jークレジット制度管理者 御中

以下のJークレジット制度登録プロジェクトについて、プロジェクト計画の変更を申請いたします。

1. プロジェクト登録情報 ※1

登録情報	
プロジェクト番号	37
プロジェクト実施者名	リベロステ 株式会社
代表者役職・氏名	代表取締役社長 河合 純二

※1 複数のプロジェクト実施者が参加するプロジェクトの場合には、欄を追加してそれぞれのプロジェクト実施者の情報を記載し、捺印すること。

2. プロジェクト計画変更内容

変更申請内容	
変更申請回数	1 回目
変更の種別	<input type="checkbox"/> 形式的な変更 ※2 <input checked="" type="checkbox"/> 形式的な変更以外 ※3
変更の概要・事由	① 森林経営計画書における施業の種類の変更により林齢を修正 ② 想定吸収量算定に係る成長量について、各年の幹材積の差として参照する蓄積・樹高テーブルに記載された「蓄積」の差分から成長量を読みとるところ、当該テーブルに記載された「成長量」をそのまま引用したため、当該成長量を修正 ③ モニタリングエリア 18 の樹種はストロブマツとして計画していたが、現況ではトドマツのみとなっているため、現況に合わせて樹種を変更 ④ モニタリング時にプロジェクト計画書にて定めたプロット設置位置が調査に適さない場所であることが判明したため、プロット設置箇所を変更 ⑤ 地位モニタリング機器（測高機）を変更 ⑥ 森林経営計画書における樹種及び林齢の誤認により修正
変更点 ※4	<変更前> ① 計画書別紙の別紙吸収量算定シート、モニタリングエリア 5-7 の施業種別が下刈り、林齢が平成 25 年度 7 年 ② 計画書別紙の別紙吸収量算定シート、カラマツ、トドマツ、広葉樹の成長量（蓄積・樹高テーブルに記載された「成長量」をそのまま引用） ③ モニタリングエリア 18 の樹種がストロブマツ ④ プロット設置箇所の変更（No.6）（No.14） ⑤ 地位モニタリング機器がブルーメライス ⑥ モニタリングエリア 12 の樹種がトドマツ、モニタリングエリア 23 の林齢が 17（H25 年度）
	<変更後> ① 計画書別紙の別紙吸収量算定シート、モニタリングエリア 5-7 の施業種別が植栽、林齢が平成 25 年度 1 年 ② 計画書別紙の別紙吸収量算定シート、カラマツ、トドマツ、広葉樹の成長量（各年の幹材積の差として蓄積・樹高テーブルに記載された「蓄積」の差分を算出） ③ モニタリングエリア 18 の樹種がトドマツ ④ プロット設置箇所の変更（No.5）（No.21） ⑤ 地位モニタリング機器がバーテックス ⑥ モニタリングエリア 12 の樹種がカラマツ、モニタリングエリア 23 の林齢が 37（H25 年度）

- ※2 プロジェクト実施者の担当者の変更や社名の変更などプロジェクト計画の内容に直接関係のない変更。
- ※3 「3. 審査機関の判断」を記入し必要な書類を添付すること。
- ※4 プロジェクト計画書において変更する項目を明示したうえで具体的に記述すること。

3. 審査機関の判断 ※5

再妥当性確認の判断	
再妥当性確認の要否	<input type="checkbox"/> 必要（妥当性確認報告書を添付） <input checked="" type="checkbox"/> 不要（確認書を添付）
担当審査機関	
審査機関名	一般財団法人 日本品質保証機構
代表者役職・氏名	専務理事 矢野 忠行

※5 形式的な変更の場合は記入不要。

4. 変更申請履歴 ※6

変更申請内容			
変更申請回数	回目	変更申請日	平成 年 月 日
変更の種別	<input type="checkbox"/> 形式的な変更 <input type="checkbox"/> 形式的な変更以外		
変更の概要・事由			
変更点	<変更前>		
	<変更後>		

※6 過去に変更申請がある場合のみ記入する。過去に複数回計画変更を行っている場合は、欄を追加してそれぞれの計画変更申請の情報を記入すること。